

LIT310 アジア系アメリカ文学

3年 1,2クォーター

担当教員 Nicolangelo Becce, Ph.D.

授業形態 演習

単位数 2

曜日・時限 未定

授業概要

「アジア系アメリカ人」という用語は米国での公民権運動後の1960年代の終わりに誕生し、アジア人を祖先とするすべてのアメリカ市民を総称する用語である。このラベル語は強力な政治的かつ文化的な意味合いを持つ。独自の歴史、言語、文化、宗教を持つ様々な民族コミュニティから成る集団はどれも均一であり、相当な均質性があるという主張を白人アメリカ人の視点から戦略的に表わそうとするものだからである。過去の歴史の中で、アジア系アメリカ人はしばしば非常に敵対的な態度で互いに対峙してきたが、彼らは皆（特定の違いはあるものの）、移民、経済的抑圧、人種差別という共通した歴史を持っている。アジア系アメリカ人の文学作品はこのように複雑な文化的・社会的経験を取り上げており、作家が自身の属するコミュニティ、延いてはアメリカという国におけるアイデンティティの問題に対処し続ける姿を描いてきた。このようにして彼らは、しばしば劇的なペースで変化した歴史的背景の中において、言語、人種、世代、社会、ジェンダー、経済上の問題を掘り下げている。

到達目標

学生は以下のことを行う：

- 1) 歴史的、文化的、社会的、政治的文脈でアジア系アメリカ人の文学作品を分析する。
- 2) アジア系アメリカ人の多面的アイデンティティを問うことに焦点を当てる。
- 3) アジア系アメリカ人の文学作品におけるジェンダー関連の問題を探る。
- 4) 文学と文化的テキストが自己、他者、そしてコミュニティの認識と理解をいかに変えることができるのかを経験する。
- 5) 代替解釈を認め、批判的思考を発達させながら、文学テキストを適切な理論的・方法論的ツールを用いて解釈することに慣れる。

教科書・参考資料等

読み物および研究材料はクラス内で配付する。

授業の方法

この授業は演習形式で行う。学生は所定の資料を読んで、自分が気づいたことを述べてクラス・ディスカッションに寄与することが求められる。また、授業はディスカッションから始め、講読資料や学生の質問・意見に基づき、簡単なインフォーマルな講義を行えるようにする。

成績評価

読んだ資料（1点あるいは複数）についていくつかリアクションペーパーを書く。このペーパーはアカデミックライティングのような正式なものではないが、主題や学生自身の現在の考え（よく分からないことを入れてもよい）を述べるものであり、クラス・ディスカッションのために少なくとも1つの問題提起をするものである。コースの最後には、最終論文を書いて、アジア系アメリカ人文学全般あるいは授業で扱ったテキストの何かの面を分析する。学生は全員、作成したペーパーを授業の最後に発表する。

成績

30%	クラス参加とディスカッションへの寄与
30%	週ごとのリアクションペーパー（RP）
30%	最終論文（AP）
10%	最終論文のプレゼンテーション

授業スケジュール（変更される場合がある）

第1週：導入

アジア系アメリカ人文学作品とその歴史的背景について。

第2週：アジア人からアジア系アメリカ人へ

歴史的、政治的、経済的な観点から、アジア人の米国への大移住の第1波（1850年代～1920年代）に関するクラス・ディスカッションを行う。

第3週：異なる視点：初期のアジア系アメリカ人作家

アジア系アメリカ人が捨てた生活と伝統を伝記風に語るものから、米国での過酷な生活環境を詩的に述べたものに至るまで、アジア系アメリカ人の初期作品に関してクラス・ディスカッションを行う。

第4週：「東洋人お断り」：第二次世界大戦と抑留経験

第2次世界大戦と日系アメリカ人が耐え忍ばなければならなかった強制移住に関わる劇的な事例に対する文学的な反応についてクラス・ディスカッションを行う。

第5週：アイイー！（IIIIIIIIII !!!）：公民権運動とアジア系アメリカ人の政治活動

味わわされた差別を非難し、これを政治的活動の武器として使う1960年代～70年代におけるアジア系アメリカ人文学の役割に関してクラス・ディスカッションを行う。

第6週：2つの世界のはざままで：80年代と90年代

1980年代～90年代のアジア系アメリカ人の人口統計学的、社会的、イデオロギー的異質性および現代文学で起きた新たな自己表出作品の爆発に関してクラス・ディスカッションを行う。

第7週：アジア系アメリカ文学の最近の動向

21世紀の変わり目に起こったアジア系アメリカ文学とその文芸批評の最近の動向に関してクラス・ディスカッションを行う。

第8-9週：男性、女性、そして沈黙：アジア系アメリカ人とジェンダー問題（第8週：第1

クォーター終了）アジア系アメリカ人の家族の歴史的特徴である家父長制イデオロギーへの挑戦の文学的表出についてクラス・ディスカッションを行う。

第10-11週：反乱とヒロイン：アジア系アメリカ人、階級、人種

アジア系アメリカ人が味わった人種差別や階級差別に関するクラス・ディスカッション。特に、これらの問題がアジア系アメリカ人作家によって作中でどう扱われているのかに焦点を当てる。

第12-13週：国境を越えて見るアジア系アメリカ文学

アメリカの国家アイデンティティの不可欠な一部であると同時に、超国家的、異文化的、生産的な脱構築の主体としてのアジア系アメリカ文化・文学の役割に関してクラス・ディスカッションを行う。

第14-15週：最終論文のプレゼンテーション

第16週：まとめ（第2クォーター終了）

コース・担当教員の評価

事前・事後学習

- ・ 予習：参考図書該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。